

((♥)) 開発者の想い

Bmapsで、誰もが安心して外出できる社会へ。



車いすで生活をしている私にとって、外出に不安はつきものです。また、お店のバリアフリー情報がわからなければ、行き先の「選択肢」が限られます。行きたい場所を自分で選べ、不安を感じることなく外出したいという想いから、「Bmaps」を開発しました。多様な方々が安心して外出できる社会を、一緒に創っていきましょう。

株式会社ミライロ 代表取締役社長
垣内俊哉



Bmapsの公式WEBサイトでは、バリアフリーに関するコラムなどを発信しています。

[Bmaps](#) [検索](#)



Bmapsは、この取り組みで『SDGs』に貢献します。

((♥)) 開発者の想い

協賛を募集しています

ご協賛により、Bmapsの実現できることが広がります。

外出の促進

障害者にバリアフリー情報を届け、「出かけたい」を生み出します。

活躍機会の創出

ユーザーの意見交換イベントを開催し、障害者の社会参加を促します。



協賛に関する詳細は、こちらから！

ダウンロードはこちらから

無料

iPhone・iOS 端末の場合

1. App Storeを起動
- 2.「Bmaps」で検索
- 3.「入手」を選択してインストール
4. アプリの起動・会員登録



Android 端末の場合

1. Playストアを起動
- 2.「Bmaps」で検索
3. インストール
4. アプリの起動・会員登録



Bmaps (ビーマップ) とは

Bmapsは、バリアフリー地図アプリです。

あなたが出かけた先のお店のバリアフリー情報を投稿することで、障害者や高齢者の外出の可能性が広がります。



ちょっとしたお出かけ後、行ったお店の段差の数や設備情報を投稿！



■ バリアフリー情報が必要な理由

車いすユーザーが入店しやすい飲食店は、全体の約 10%※です。バリアフリー化にはお金も時間もかかるため、この数を増やすのは非常に難しいことです。一方で、その 10%のお店がどこにあるかがわかれれば、それだけで車いすユーザーの外出の機会は増加します。また、車いすユーザーのみならず、ベビーカー利用者や高齢者、外国人も、安心して入店できる情報を必要としています。※入口の段差が 0 段または 1 段の飲食店(Bmaps プロジェクト調べ)



■ REAL VOICE

今日、私が出かけた先で「困ったこと」や「助かったこと」を、Bmapsで発信すれば、誰かの明日を照らす地図になります。たくさんの人たちの「人を想う心」が詰まったBmapsの情報は、日本中を笑顔にしてくれると思います。

原田 あきさん (アコースティックデュオ「SAKURANBO」)



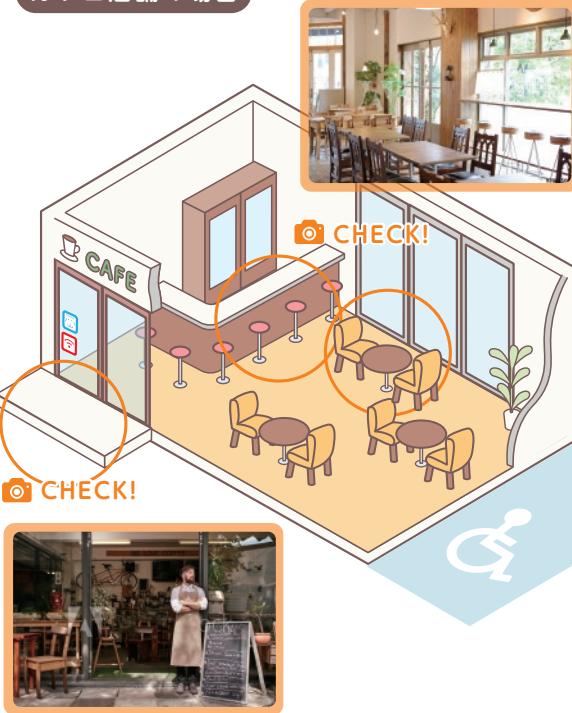
初めての場所に行くとき、お手洗いがあるのか、バリアフリーなお店があるのかという情報を得るには時間がかかります。Bmapsに情報が集約されれば、とても助かります。

中野 政勝さん



■ 投稿の例

カフェ店舗の場合



Bmapsでバリアフリー情報を投稿する際、どこまでの情報を投稿すべき?という疑問が上がります。そのような時は、下記の投稿のポイントを参考にしてみましょう。



すべての情報を入力することは大変です。まずは、**★マーク**がついた3つの項目の投稿を優先してみましょう。

①スポットレビュー

利用のしやすさを評価します。障害物がなく、快適性が高ければ**「4~5」**を選びましょう。段差や障害物などがある場合は**「1~3」**を選択しましょう。

②入口の段差

入口の段差は、車いすやベビーカーを利用する方のバリアであり、その数は重要な情報です。左の店舗の場合は、「**1**」(段差1段)を選択しましょう。

③コメント

詳しい情報を入力しましょう。段差がある場合は、「**段差の高さは10cmほどです。**」と記載しましょう。

④写真

写真があると、閲覧者自身でお店の状況を判断できます。左の写真を参考に、「**入口**」や「**店内全体**」がわかる写真を投稿しましょう。

⑤特徴・設備

どのような特徴や設備かを選択することができます。左の店舗の場合は、右の項目を選択しましょう。

